



老いや衰えに対応した 社会づくりを

「認知症対策の推進に努める」

戸田の会 酒井 郁郎 議員

議員 誰もがいつかは迎える、老いや衰えに対応した社会づくりを。特に認知症対策が急務。食習慣や運動習慣などの健康教育や社会活動支援が大切であるとともに、認知症になられた方のための体制づくりが求められる。

市長 認知症グループホーム増設の検討や、認知症サポーター増員など認知症対策の推進に努める。



▶徘徊模擬訓練の様子

保育の質向上、子育ての負担軽減を

議員 待機児童解消のほか、保育の質向上や保護者の負担軽減等、改善をお願いしたい。

市長 大変重要な点である。その他、保育士にとっての魅力ある職場づくり、3人以上の子供がいる多子世帯支援としての子育てチケット増額など、育児しやすい環境をつくる。

防災対策、マンション支援の強化を

議員 戸田市が対応すべき課題に一般住宅耐震化、物流機能の万全な確保、マンションの防災対策等が挙げられる。防災基本条例や地域強靱化計画にはどのような狙いがあるのか。

市長 防災対策の計画的な推進、災害に伴う被害の軽減を図り、災害に強いまちを目指す。

議員 老朽化や防災、独居老人の問題など、マンション支援強化を。

市長 マンション問題を支援する担当組織の設置を検討する。

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問です。

今定例会では、菅原市長の就任に伴い、20年ぶりに所信表明がなされ、6月7日の本会議において、6人の議員が会派を代表して総括質問を行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の全容は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



▲にぎわいをみせる彩湖・道満グリーンパーク



高校卒業までの 「こども医療費無料化」を

「財政上の課題もクリアし進める」

公明党 手塚 静枝 議員

議員 高校卒業までのこども医療費の無料化は、子育て世帯の経済的な負担の軽減となる。市長は、財政的な課題等をどのようにクリアし、高校生までの拡大を図るのか。事業導入への本気度を伺う。

市長 現在、課題を整理している。財政上の課題もクリアし、早い時期に実現できるように、本気で検討を進める。



▶市役所で開催されていた「ふるさと祭り」

「ふるさと祭り」の 市役所での再開催を

議員 市役所での再開催を願う市民の声を議会に取り上げてきたが、開催が困難であると見送られてきた。会場変更の解決を図る策は。また、ふるさと祭り全体を、リニューアルする考えは。

市長 大変難しい課題があるが、市役所で再開催ができるよう努力

危機管理能力向上を

していく。祭りのあり方等も検討していく。

議員 退職自衛官等の防災専門家を採用する意義と、その役割は。

市長 現場経験豊富な専門家の採用で、防災・減災対策のさまざまな助言や支援が期待できる。さらなる防災力の向上を目指す。

シルバーパスの発行は

議員 高齢者や障がい者の移動を支援する「戸田市版シルバーパス」の発行の施策は。

市長 移動手段となる交通機関の充実が重要。具体化の検討を進める。



正直な姿勢でクリーンな 政治実現への方策は

「見える化することが重要」

みらいの会 熊木 照明 議員

議員 中立・公正・公平な市政運営を掲げ、政治的に一党一派に偏らず、職務や人事に対しても「正直な姿勢」を貫くことが、「クリーンな政治」の実現に向け、市民と行政の信頼関係が高まり、住民参加のまちづくりが促進されるものと考えます。市長が掲げる「正直な姿勢」や「クリーンな政治」の実現のため、方策や取り組みをどのように考えるかお伺いします。

市長 誰もが活躍できる協働のまちづくりに向けて、市民・議員・職員との信頼関係を構築し、市政と真つすぐ向かい合い「見える化」することが重要であり、市民の声を直接聴き、市民と同じ目線に立つことで、市民が納得のいく中立公平な行政運営を実現していく。

地元企業優先的な発注 への方策は

議員 公共事業の発注を活用し地域経済を活性化するため、どのように地元企業の優先的な発注に取り組むのか。

市長 業者指名や入札参加者資格要件は、原則、地元企業を選定することとし、受注機会の確保に努める。

▶新築される戸田市スポーツセンタープール



町会と行政の 役割分担の見直しを

議員 地域組織と市が一体となった市政運営は必要不可欠であり、持続可能な「町会と行政の役割の見直し」をどのように進めるか。

市長 町会連合会を通じて現状把握し、役割分担の見直しを検討する。